

授業科目名	疾患別理学療法Ⅲ（整形①）	授業形態	講義	配当学期	2年（前期）
担当教員名	平塚 将嗣	単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>整形外科領域は理学療法の対象となる主要分野の1つである。解剖学、運動学、主要整形外科疾患の障害像と病態を復習しながら、術式を含めた、その評価、問題点の抽出、その後療法や理学療法実施に必要な知識を学ぶ。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>整形外科疾患に対する。理学療法の評価、方法のイメージを構築する。疾患に合わせたリスク管理を身につける。臨床実習で担当する機会が多い、大腿骨頸部骨折、変形性関節症を中心に学ぶ</p>				
授業回数	授業内容				
第 1 回	整形外科疾患理学療法総論(リスク管理、生化学検査、画像所見)				
第 2 回	骨関節疾患の問診 運動器疾患 評価・問題点の列挙				
第 3 回	大腿骨頸部骨折の概要について、評価項目に対する考え方				
第 4 回	大腿骨頸部骨折患者の基本動作のリスクの理解、介助方法について				
第 5 回	大腿骨頸部骨折患者のROM測定での注意点、姿勢、脱臼肢位について				
第 6 回	大腿骨頸部骨折患者の術後における脱臼肢位を注意したその他運動療法について				
第 7 回	大腿骨頸部骨折の一般的な合併症・既往歴について				
第 8 回	変形性関節症とは 変形性股関節症とは				
第 9 回	変形性股関節症を例として、筋力増強訓練の方法と注意点のディスカッション				
第 10 回	変形性股関節症に対する日常生活の注意点、変形性膝関節症の概要				
第 11 回	変形性膝関節症を例として、疼痛の問診の実技練習				
第 12 回	PBL 膝折れを呈した症例①				
第 13 回	PBL 膝折れを呈した症例②				
第 14 回	PBL 骨折術後に筋力低下を呈した症例①				
第 15 回	PBL 骨折術後に筋力低下を呈した症例②				
評価方法	期末試験で評価します。（100%）				
教科書 参考図書	<p>〔教科書〕 Crosslink 理学療法テキスト 運動器障害理学療法学 メジカルビュー社 画像所見 医学書院</p> <p>〔参考図書〕</p>				
履修上の 留意点	実技練習も行うため、授業の進み具合によっては内容が変更になる場合があります。				
メッセージ	受け身ではなく、「自発的に学んでいく、疑問点を追及していく姿勢」を大事にしてください。				